

登録団体概要書

(2025年2月作成)

(ふりがな) 団 体 名		とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	
代表者職・氏名		理事会長 小林 剛	
主たる事務所の 所 在 地		〒761-0311 香川県高松市元山町861番地12	
連 絡 先 等		電 話	087-840-4072
		F A X	087-840-4073
		e - mail	dongurinetwork@gmail.com
		ホームページ	https://www.donguri-net.com/
法人設立年月		1999年 8 月	正会員数 92 人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		里地の森林を主たるフィールドとして、森林とそれに係わる流域（河川・ため池、海洋および農地・都市）を含めた生物と資源・エネルギーの持続的な利用と管理、そしてそれらに必要な教育啓蒙と人材育成に取り組む。とくに、自治体・地域団体と連携し、地域の森林の整備や保全、そして循環型社会やリサイクルエネルギー獲得のために必要な生物多様性や環境の保全活動を行う。また、企業や研究機関にその概念とフィールドを提供し、生態系の仕組みの理解と持続可能な開発のための各種事業を支援する。 幼児から高齢者までを対象とした里山の成り立ちや仕組みを体験・学習するためのイベント開催や活動支援を介し、産官学民連携事業の提案や広報を積極的に行う。また、それらの実施に取り組むために必要な専門知識・技術を身につけるための定期的・体系的な研修の場を設ける。これらの活動を通じて、里山・里地の再生と健全な日本社会の形成・発展に寄与することを目的とする。	
主たる活動分野		(1) 環境の保全を図る活動 (2) 子どもの健全育成を図る活動 (3) 社会教育の推進を図る活動	
活 動 状 況	主 な 活 動	・香川県立森林公園ドングリランドの管理運営（指定管理者） ・市民参加型の森林保全活動の企画運営 ・森林を活用した環境学習活動の企画運営 ・幼稚園、保育園、小学校等への環境教育プログラムの提供、支援 ・里山や森林の保全に関わる人材の育成活動 ・里山の自然環境を保全するための調査研究活動	
	活 動 地 域	香川県全域	
	活 動 頻 度	通年	

	過 去 の 事 業 実 績	・ ドングリランド指定管理業務の受託（H18 年より） ・ 市民参加型の森林保全活動の実施（R5 年度実績：87 回 633 名） ・ 森林を活用した環境学習活動の実施（R5 年度実績：101 回 3129 名） ・ 幼稚園、保育園、小学校等への出張授業（R5 年度実績：18 回 945 名） ・ モニタリングサイト 1000 里地調査の実施（H30 年より）
	今後の活動方針	①森・里山を育む、②森・里山を楽しむ（利用する）、③森・里山を知る・調べる、そして④森・里山に関わる人を育むことを通じて里山と人を繋げるネットワークづくりを活動方針とし、環境保全・環境教育・人材育成に取り組み、里山・里地の再生と健全な日本社会の形成・発展に寄与していく。
	県民への P R	私たちどんぐりネットワークは、どんぐり銀行の活動支援ボランティアから始まり、平成 11 年に県内最初の環境保全分野の NPO 法人として活動を続けてきました。香川県は全国的に見ても里山の森林が多い地域ですが、他の都道府県同様に、里山はほとんど使われなくなっています。このように管理されなくなった里山は貴重な生物が住みにくくなったり、野生動物による被害が増えたりといった問題も起こっています。また、子ども達が自然について体験する場も減っており、どのように次世代に受け継いでいくかという課題もあります。 このような問題・課題に対して私たちは、貴重な生物が住める場所や、県民の皆さまに森林の大切さを知ってもらえる場所として、里山を維持・管理する活動を続けています。同時に、様々なイベントやどんぐり銀行等の活動を通じて、子ども達をはじめとする県民の皆様は里山の大切さを伝える事も行っています。 このような活動は、すぐに結果が出る活動ではなく、時間がかかる活動でもあります。現在そして将来のかがわの自然を守り、育み、伝えるために、私たちの活動にご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。

（注1）団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

（注2）枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(2025年2月作成)

団体名 特定非営利活動法人どんぐりネットワーク

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	県立森林公園ドングリランドの指定管理者として、施設の維持管理・運営を行っています。ドングリランドでは、里山の森林に触れ身近に親しむことを通して、県民の皆様に里山の森林の大切さを知って頂きたいとの思いから、森林維持管理の一端を体験できる「ドングリランドの森づくり」、親子で里山の自然を体験できる「森の親子広場」「むしむし探検隊」、昔ながらの里山の文化を体験できる「門松作り」「春の七草観察会」、森林の事を学ぶ「森林学習講座」、里山整備技術を学ぶ「仮払機体験講座」「チェーンソー体験講座」などの多様なイベントを企画運営しています。 また、どんぐり銀行の窓口業務等を行っており、どんぐり銀行の普及啓発活動にも取り組んでいます。
より公益性の高いNPO活動を行っていること	教育機関や各種団体に対して環境教育プログラム（ガイド付き森林散策、どんぐりを使った工作等）を提供し、主に子どもたちが自然を知り親しむ機会の提供を行っています。 また、香川県や高松市の体験型環境学習プログラムの実施団体として、県下の小学校等へ出向き、里山の森林の役割を学ぶ講座や地域の自然を観察し学ぶ講座等を通して、里山に親しむことや大切さを伝える活動を行っています。 さらに、ドングリランドを大学の演習や実習の場所として受け入れ支援を行っています。 平成30年からは環境省モニタリングサイト1000里地調査を開始し、里山の生態系の変化を科学的な視点から捉える活動にも取り組んでいます。
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	平成5年のどんぐり銀行の活動支援ボランティアから始まり、25年以上にわたって「どんぐり」をキーワードに里山の森林を守り伝える活動を続けてきました。里山は人間の活動の影響を強く受ける自然の一つであり、その変化を捉えていくことも重要です。そうした点から、大学の研究活動への支援以外にも、里山の生物の変化を調査する活動も開始しました。 森・里山を育み、楽しみ、知るという活動は、一朝一夕でできるものではなく、またこうした活動に関わる人材の育成も短い期間でできるものではありません。次の25年のみならず、その先も見据えた活動を目指して、地域の方々をはじめ幅広く県民の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。